

科目名	Recording Chorus Work(1)	必修 選択	選択必 修	年次	1	担当教員	近藤章 裕
学科・コース	TSM研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	SHINee,INFINITE,DOBERMAN INFINITY,DEEP SQUAD等のボーカルディレクター。今市隆二(3代目JSB), SALU, SWAY, DEEP SQUAD, 小柳ゆき等の楽曲コーラスアレンジ&ディレクターを担当						
授業の学習 内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、『学び→実践→体感→振り返り→気付き→学び』このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを理解、体感すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	チーム構成、基礎知識、レコーディングにおいてのコミュニケーションを学ぶ	レコーディングチームの組み分け・授業内容の復習
2	5月25日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ1	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
3	6月1日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ2	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
4	6月8日	講義・演習	歌唱楽曲を用いてのレコーディング演習でディレクション、コミュニケーション能力を深める	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
5	6月15日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ3	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
6	6月22日	講義・演習	歌唱楽曲を用いてのレコーディング演習でディレクション、コミュニケーション能力を深める	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
7	6月29日	講義・演習	レコーディングの演習と振り返りリフレクション	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
8	7月6日	講義・演習	歌唱楽曲を用いてのレコーディング演習でディレクション、コミュニケーション能力を深める	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
9	7月13日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ4	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
10	7月20日	講義・演習	歌唱楽曲を用いてのレコーディング演習でディレクション、コミュニケーション能力を深める	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
11	7月27日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング準備とチーム内でのディスカッションを通してプリプロダクションの準備を行う
12	8月3日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング準備とチーム内でのディスカッションを通してプリプロダクションの準備を行う
13	8月17日	講義・演習	前期授業のリフレクション	セルフ・チームリフレクションを行う
14	8月24日	講義・演習	イベントを通してレコーディングプロダクトの技術を学ぶ	レコーディングに用いる楽曲の選定と準備
15	8月31日	講義・演習	イベントを通してレコーディングプロダクトの技術を学ぶ	レコーディングに用いる楽曲の選定と準備
準備学習 時間外学習			レコーディング基礎知識の復習と授業予習、またはレコーディング準備を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	Recording Chorus Work(2)	必修 選択	選択必 修	年次	1	担当教員	近藤章 裕
学科・コース	TSM研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	SHINee,INFINITE,DOBERMAN INFINITY,DEEP SQUAD等のボーカルディレクター。今市隆二(3代目JSB), SALU, SWAY, DEEP SQUAD, 小柳ゆき等の楽曲コーラスアレンジ&ディレクターを担当						
授業の学習 内容	マーケティング4.0の先進ネット社会において、音源を遠隔で制作し高いクオリティを作る必要があることを理解し、シンガーとして自立してレコーディングを行い、高いプロダクトクオリティを生み出す為に行われる授業。レコーディングに関する必要なスキルを体得し知識を習得するための、『学び→実践→体感→振り返り→気付き→学び』このサイクルの実現。						
到達目標	レコーディングにおいて高いプロダクトクオリティを生み出すレベルを体得、実践すること。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	本番RECセルフリフレクション
2	10月12日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
3	10月19日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ5 振り返りのリフレクションの実施	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
4	11月9日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ6 振り返りのリフレクションの実施	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
5	11月16日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ7 振り返りのリフレクションの実施	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
6	11月23日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ8 振り返りのリフレクションの実施	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
7	11月30日	講義・演習	レコーディングディレクションとプロダクトについて学ぶ9 振り返りのリフレクションの実施	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
8	11月7日	講義・演習	レコーディングのためのチームミーティングとディスカッションを通して、チーム制作を学ぶ	レコーディング基礎知識の復習と授業予習を行う
9	11月14日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング準備とチーム内でのディスカッションを通してプリプロダクションの準備を行う
10	11月21日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング準備とチーム内でのディスカッションを通してプリプロダクションの準備を行う
11	1月18日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング準備とチーム内でのディスカッションを通してプリプロダクションの準備を行う
12	1月25日	講義・演習	レコーディング現場の環境を想定した実践型のRECプリプロダクションを行う	レコーディング準備とチーム内でのディスカッションを通してプリプロダクションの準備を行う
13	2月1日	講義・演習	ラストリフレクション ディレクションとプロダクトについての知識を深める	セルフ・チームリフレクションを行う
14	2月8日	講義・演習	イベントを通してレコーディングプロダクトの技術を学ぶ	レコーディングに用いる楽曲の選定と準備
15	2月15日	講義・演習	イベントを通してレコーディングプロダクトの技術を学ぶ	レコーディングに用いる楽曲の選定と準備
準備学習 時間外学習			レコーディング基礎知識の復習と授業予習、またはレコーディング準備を行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	長谷川ゼミ(1)	必修 選択	選択必 修	年次	1	担当教員	長谷川 開
学科・コース	TSM研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATIC成员。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。						
授業の学習 内容	【1】基礎的歌唱力の向上 【2】表現力や伝える力など、シンガーがステージの上で発揮すべき技術を得る 以上二点を目的とするクラス。様々なジャンルに挑戦する中で自分の新しい可能性を知り、自分の弱点や強みを踏まえてプロとして観客にどんなステージを見せたいか、を課題曲や本番を通して学んでいきます。						
到達目標	基礎力(発声、リズム、発音など)と応用力(表現力、パフォーマンスなど)を高め、学期末の発表会で発揮する						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	5月18日	講義・演習	授業説明・自己紹介・自分の音楽的長所と短所の分析	クラス内発表曲準備・メロディーのアナライズ(1日30分～2時間)
2	5月25日	講義・演習	クラス内発表会	基礎曲練習・メロディーのアナライズ(1日30分～2時間)
3	6月1日	講義・演習	基礎曲1 歌唱指導/前期発表会で何を発揮したいか	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
4	6月8日	講義・演習	基礎曲2 歌唱指導/自由課題曲1 歌唱指導 発声・発音についての技術・知識を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
5	6月15日	講義・演習	基礎曲3 歌唱指導/自由課題曲2 歌唱指導 発声・発音についての技術・知識を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
6	6月22日	講義・演習	基礎曲4 歌唱指導/自由課題曲3 歌唱指導 発声・発音についての技術・知識を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
7	6月29日	講義・演習	基礎曲5 歌唱指導/自由課題曲4 歌唱指導 発声・発音についての技術・知識を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
8	7月6日	講義・演習	基礎曲6 歌唱指導/自由課題曲5 歌唱指導 旋律分解を行い、細かな歌唱技術を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
9	7月13日	講義・演習	基礎曲7 歌唱指導/自由課題曲6 歌唱指導 旋律分解を行い、細かな歌唱技術を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
10	7月20日	講義・演習	基礎曲8 歌唱指導/自由課題曲7 歌唱指導 旋律分解を行い、細かな歌唱技術を学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
11	7月27日	講義・演習	前期発表会の曲決定	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
12	8月3日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導1	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
13	8月17日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導2	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
14	8月24日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	8月31日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			基礎曲練習/自由課題曲練習・アナライズを自主的に行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	長谷川ゼミ(2)	必修 選択	選択必 修	年次	1	担当教員	長谷川 開
学科・コース	TSM研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATIC成员。ゴスペルシンガーとしてだけでなくツアーコーラス、ミュージカルなど幅広く活動。						
授業の学習 内容	【1】基礎的歌唱力の向上 【2】表現力や伝える力など、シンガーがステージの上で発揮すべき技術を得る 以上二点を目的とするクラス。様々なジャンルに挑戦する中で自分の新しい可能性を知り、自分の弱点や強みを踏まえてプロとして観客にどんなステージを見せたいか、を課題曲や本番を通して学んでいきます。						
到達目標	基礎力(発声、リズム、発音など)と応用力(表現力、パフォーマンスなど)を高め、学期末の発表会で発揮する						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月5日	講義・演習	前期発表会のフィードバック 後期の目的を理解し、目標を設定する	課題曲の選曲・メロディーのアナライズ(1日30分～2時間)
2	10月12日	講義・演習	基礎曲歌唱指導1/自由課題曲歌唱指導1 各々の楽曲に応じた発音・発声について学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
3	10月19日	講義・演習	基礎曲歌唱指導2/自由課題曲歌唱指導2 各々の楽曲に応じた発音・発声について学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
4	11月9日	講義・演習	基礎曲歌唱指導3/自由課題曲歌唱指導3 各々の楽曲に応じた発音・発声について学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
5	11月16日	講義・演習	基礎曲歌唱指導4/自由課題曲歌唱指導4 各々の楽曲に応じた発音・発声について学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
6	11月23日	講義・演習	基礎曲歌唱指導5/自由課題曲歌唱指導5 各々の楽曲に応じた発音・発声について学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
7	11月30日	講義・演習	基礎曲歌唱指導6/自由課題曲歌唱指導6 各々の楽曲に応じた発音・発声について学ぶ	基礎曲練習/自由課題曲選曲 アナライズと自主的な練習(1日30分～2時間)
8	11月7日	講義・演習	後期発表会の楽曲選定と決定	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
9	11月14日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導1 発表で歌唱する楽曲の発声・発音のレクチャー	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
10	11月21日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導2 発表で歌唱する楽曲の発声・発音のレクチャー	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
11	1月18日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導3 発表で歌唱する楽曲の発声・発音のレクチャー	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
12	1月25日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導4 発表で歌唱する楽曲の発声・発音のレクチャー	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
13	2月1日	講義・演習	発表会の曲歌唱指導5 発表で歌唱する楽曲の発声・発音のレクチャー	発表会準備・歌唱練習とアナライズ
14	2月8日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
15	2月15日	講義・演習	イベントを通して歌唱技術を学ぶ	イベント課題曲のアナライズ
準備学習 時間外学習			基礎曲練習/自由課題曲練習・アナライズを自主的に行う	
【使用教科書・教材・参考書】				

科目名	GTS(1)	必修 選択	選択必 修	年次	1	担当教員	鈴木さくら
学科・コース	TSM研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。DREAMS COME TRUE、SWAY(DOBERMAN INFINITY)、今市隆二(3代目JSB)のコーラスレコーディングや、実写版ライオンキングのプレミアム吹替版声優発表イベントにてCircle of lifeのメインコーラスとして出演するなど多方面に活躍中。						
授業の学習 内容	Singerの為に必要最低限の音楽理論を学ぶ。						
到達目標	ダイアトニックコードを理解し、コードアナライズ、メロディアナライズ、コード進行を学習し、音楽制作や正しく歌唱するためのメロディーリーディングに活用できるようにすることを目標とする。						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月9日	講義・演習	誰に渡しても読みやすい譜面を書けるように音符、休符、譜面を正しく書く練習をします。Notation. 音符の計算、拍子小テスト	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
2	10月16日	講義・演習	曲の根本のリズム感(Groove)を学ぶ。全ての曲のGrooveを聞き分けよう!	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
3	10月23日	講義・演習	曲の中でGrooveを聞き分け小節数を聞き取っていきます。実際の譜面の模写。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
4	11月6日	講義・演習	リピートマークを学び、小節数を聞き取った曲をシンプルにする為にリピートマークを使っていく。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
5	11月13日	講義・演習	曲を聞きGrooveを聞き分け、小節数を聞き取り、リピートマークを使い、簡単なサイズ譜を作ってみる。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
6	11月20日	講義・演習	曲を聞き、簡単なサイズ譜を作ってみる。譜面模写。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
7	11月27日	講義・演習	Key Signature(調合)、五度圏の説明。小テストあり。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
8	12月4日	講義・演習	正しく音符を書いていく為のグルーピングを学ぶ。4分音符、8分音符のみ。小テストあり。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
9	12月11日	講義・演習	グルーピングの16分音符ありを学ぶ。小テストあり。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
10	12月18日	講義・演習	コードを学んでいく上で大切な音の幅(インターバル)を学ぶ。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
11	1月8日	講義・演習	インターバル説明続き、小テストあり。	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
12	1月15日	講義・演習	コードを学ぶ。まずはトライアド(3和音)を確実にマスターしよう!	音楽理論についての予習・復習(一日30分~1時間)
13	1月22日	講義・演習	課題曲を用いたコンサートを意識したパフォーマンス。	課題曲のアナライズと自主練習
14	1月29日	講義・演習	イベントを通じて音楽理論を活用した制作、リーディング技術を学ぶ。	イベントに向けた音楽理論を活用した音楽制作、または歌唱するためのメロディーリーディングを行う
15	2月12日	講義・演習	イベントを通じて音楽理論を活用した制作、リーディング技術を学ぶ。	イベントに向けた音楽理論を活用した音楽制作、または歌唱するためのメロディーリーディングを行う
準備学習 時間外学習			予習・復習	
【使用教科書・教材・参考書】				
サーバーにアップされる資料(譜面、歌詞、音源)、iPad				

科目名	GTS(2)	必修 選択	選択必 修	年次	1	担当教員	鈴木さく ら
学科・コース	TSM研究科	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴	THE SOULMATICのメンバーとして様々なレコーディング、イベント等に出演。DREAMS COME TRUE、SWAY(DOBERMAN INFINITY)、今市隆二(3代目JSB)のコーラスレコーディングや、実写版ライオンキングのプレミアム吹替版声優発表イベントにてCircle of lifeのメインコーラスとして出演するなど多方面に活躍中。						
授業の学習 内容	Singerの為に必要最低限の音楽理論を学ぶ。						
到達目標	ダイアトニックコードを理解し、コードアナライズ、メロディアナライズ、コード進行を学習し						
評価方法と基準	筆記又は、実技による採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	前期の習得レベルをチェック	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
2	10月15日	講義・演習	ダイアトニックコードの機能、two-five、ドミナントモーション、トライトーン、functional motion	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
3	10月22日	講義・演習	セカンダリードミナント、セカンダリードミナントのtwo-five化、substitute chord	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
4	11月5日	講義・演習	同主調からの借用和音とそのメリット	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
5	11月12日	講義・演習	2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
6	11月19日	講義・演習	2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
7	11月26日	講義・演習	2.3.4週目の内容を踏まえ、既成曲でコードアナライズ、さらに同じコード進行を使ってメロディーを作ってみる	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
8	12月3日	講義・演習	クリシェなどの定型のコード進行の紹介、さらに発展的なアプローチ	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
9	12月10日	講義・演習	テンション、テンションリゾルブについて学ぶ	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
10	12月17日	講義・演習	テンションがmelodyに効果的に使われている具体例について学ぶ	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
11	1月7日	講義・演習	コードにテンションを加えて、テンションコードについての響きについて学習する	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
12	1月14日	講義・演習	メロディーアナライズについての応用知識を学ぶ	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
13	1月21日	講義・演習	メロディーアナライズについての応用知識を学ぶ	音楽理論についての予習・復習(一日30分～1時間)
14	1月28日	講義・演習	イベントを通じて音楽理論を活用した制作、リーディング技術を学ぶ	イベントに向けた音楽理論を活用した音楽制作、または歌唱するためのメロディーリーディングを行う
15	2月11日	講義・演習	イベントを通じて音楽理論を活用した制作、リーディング技術を学ぶ	イベントに向けた音楽理論を活用した音楽制作、または歌唱するためのメロディーリーディングを行う
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				